

VII 参考資料

第2次山形県森林整備長期計画目標の進捗及び達成状況

項目名	指標	指標		計画策定時	計画改定時	実績					目標値	目標値に対する達成状況		
				H20～21年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R元年度				
				指標名	単位	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	達成率	◎：達成 (100%以上) ○：概ね達成 (80～100%) △：未達成 (80%未満)
1 森を守る														
指標	1	森林吸収源対策面積	ha	14,246	43,467	47,685	51,239	54,714	58,149	60,500	96%	○		
指標	2	保安林指定面積	ha	—	2,219	2,574	2,574	2,574	2,691	3,700	73%	△		
指標	3	山地災害危険地区着手率	%	47.2	49.2	49.8	51.5	51.6	51.7	50.0	103%	◎		
2 森を育てる														
指標	4	森林経営計画作成面積	千ha	—	33.6	37.3	36.4	39.9	41.3	52.8	78%	△		
指標	5	林業労働生産性	m³/人日	4.0	5.6	5.5	5.7	6.0	6.2	10.0	62%	△		
指標	6	林内路網整備	km/年	33	117	93	113	117	123	152	81%	○		
指標	7	高性能林業機械保有台数	台	(30)	92	102	129	154	191	143	134%	◎		
指標	8	間伐面積	ha	—	21,140	24,158	26,831	29,366	31,865	36,400	88%	○		
指標	9	再造林率	%	—	33	32	44	53	64	85	75%	△		
3 森を活かす														
指標	10	県産木材供給量	千m³/年	309	362	426	489	505	535	570	94%	○		
指標	11	JAS製品出荷量	千m³/年	30	28	30	60	77	78	82	95%	○		
指標	12	公共施設の木造化率(3,000㎡以下の低層の公共建築物)[件数割合]	%	—	66	70	74	69	70	100	70%	△		
指標	13	民間施設の木造化率(産業用建築物)[件数割合]	%	—	43	40	41	40	37	55	67%	△		
指標	14	木質バイオマスの供給量(未利用間伐材等)	t/年	(3,300)	(34,294)	51,251	118,645	127,750	201,024	104,000	193%	◎		
指標	15	きのこ・山菜類の生産量	t/年	12,200	11,000	11,794	11,830	11,026	10,385	11,400	91%	○		
4 森を支える														
指標	16	森林施業プランナー	人	—	28	32	37	43	50	45	111%	◎		
指標	17	フォレストリーダー	人	—	10	31	56	70	70	70	100%	◎		
指標	18	新規就業者数	人/年	56	56	48	63	60	66	70	94%	○		
指標	19	県民の森林づくり活動等への参加人数	千人/年	68	99	101	103	103	106	105	101%	◎		

注1) 指標7 計画策定時の数値は高性能林業機械の所有台数のため()書き
 注2) 指標14 計画策定時の数値と現状値は製材端材を含んだ木質バイオマス供給量のため()書き

◎:6
 ○:7
 △:6

第2次山形県森林整備長期計画目標の進捗及び達成状況

項目名	指標	指標		実績		達成率	現状分析及び今後の取組方針
		指標名	単位	R元年度	目標値		
				数量	R元年度		
1 森林を守る							
指標	1	森林吸収源対策面積	ha	58,149	60,500	96%	取組みを継続することにより概ね目標を達成できる見込みであるが、目標達成に向け森林整備を着実に進めていく。【R1実績は見込み】
指標	2	保安林指定面積	ha	2,691	3,700	73%	毎年保安林指定調査を実施してきたものの、指定対象森林の境界や森林所有者の特定に想定以上の時間を要したことから、目標達成に至らなかった。今後は、山地災害発生危険性が高い地区など特に公益的機能を発揮させる必要のある森林について重点的に調査し、森林所有者等に対する保安林制度の趣旨説明や指定の手続きを計画的に行い、保安林の適正な整備を推進していく。
指標	3	山地災害危険地区着手率	%	51.7	50.0	103%	県単独自防災事業にて、新規箇所の手続きが進むなど、現時点で目標を達している。引き続き山地災害危険地区を中心とした治山事業を実施し、森林機能の維持・保全に努めていく。
2 森を育てる							
指標	4	森林経営計画作成面積	千ha	41.3	52.8	78%	5年間の認定期間終了に伴い平成29年度累計面積は減少したが、平成30年度から令和元年度にかけては新規認定が増え、最終的には8割弱の達成率となった。今後は計画の量的視点から、撤出間伐や主伐・再造林の推進などが効果的な計画内容となっているかという質的視点で、実行状況を検証しながら計画内容の充実について森林施業プランナーやフォレストと連携を強化し支援を行っていく。
指標	5	林業労働生産性	m³/人日	6.2	10.0	62%	間伐作業や小規模事業体で生産性が低い傾向にあることや、事業体の体制により生産性に大きな格差があること等から全体として生産性が伸びていない。引き続き、効率的な施業を実現するため林地の集約化を進めながら、高性能林業機械導入や路網整備への支援、低コスト施業技術等の普及・指導を行い、事業体の全体的な底上げを図っていく。
指標	6	林内路網整備	km/年	123	152	81%	森林整備と直結した路網整備を着実に実施し、概ね目標を達成した。しかし、主伐や間伐等の木材搬出に必要な路網整備は不十分であるため、今後はICTを活用した森林資源情報を把握し、計画的・効率的な路網整備を推進する。
指標	7	高性能林業機械保有台数	台	191	143	134%	高性能林業機械導入への補助やレンタル支援の実施により着実に増加しており、目標を達成した。
指標	8	間伐面積	ha	31,865	36,400	88%	撤出間伐が主体となり、県内の林業事業体においては高性能林業機械等を導入し、間伐コストの低減に取り組んでいるが、事業体毎の作業効率の格差が大きく、県全体では十分なコスト低減が図られていない。今後も引き続き、施業地の団地化を図り、林内路網の整備と高性能林業機械の導入を組み合わせた効率的な作業システムを普及し、低コスト化を図ることで、間伐面積の拡大を図っていく。
指標	9	再造林率	%	64	85	75%	再造林率は伸びているが、将来の森林管理や収益に対する不安から、再造林に踏み切れない森林所有者が多く、目標を達成することができなかった。今後は伐採事業者と造林事業者の連携や計画的な主伐・再造林等について、行政と民間が連携しながら一体的な取組みに向けた指導を強化し、再造林率の向上を図っていく。
3 森を活かす							
指標	10	県産木材供給量	千m³/年	535	570	94%	大型集材工場や木質バイオマス発電施設の本格稼働に対応し、供給量が増加している。今後も供給量の増加に対応した林業事業者の原木増産体制の強化に向けた支援を行っていく。
指標	11	JAS製品出荷量	千m³/年	78	82	95%	JAS認定工場の増加に伴い、JAS製品出荷量も増加している。引き続き、JAS認定取得に向けた支援を行っていく。
指標	12	公共施設の木造化率(3,000㎡以下の低層の公共建築物)[件数割合]	%	70	100	70%	一般的に木造建築の場合、他工法と比較して建設コストが割高傾向にあることや、一定量まとまった木材調達に困難などの課題があり達成できなかった。今後は、目標達成に向けて「やまがたの公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針」に基づき、公共建築物の木造化、木質化に向けた取組みを強化していく。
指標	13	民間施設の木造化率(産業用建築物)[件数割合]	%	37	55	67%	一般的に木造建築の場合、他工法と比較して建設コストが割高傾向にあることや、中・大規模建築物の木造設計ができる人材不足などの課題があり達成できなかった。今後は、目標達成に向けて民間施設の木造化に向けた支援や普及啓発等の取組みを強化していく。
指標	14	木質バイオマスの供給量(未利用間伐材等)	t/年	201,024	104,000	193%	木質バイオマス発電施設の本格稼働に対応し、供給量が増加しており、目標を達成した。
指標	15	きのこ・山菜類の生産量	t/年	10,385	11,400	91%	東日本大震災(H23年)の影響で急激に減少したが、その後は増加に転じH29には目標値を超える水準まで回復している。引き続き生産振興に取り組んでいく。
4 森を支える							
指標	16	森林施業プランナー	人	50	45	111%	事業体での提案型集約化施業を担う人材育成が進み、資格取得者は着実に増加しており、概ね目標は達成できる見込み。引き続き、研修会の開催など資格取得に向けた支援を行っていく。
指標	17	フォレストリーダー	人	70	70	100%	国の「緑の雇用事業」を活用した研修受講支援により、資格取得者は着実に増加しており、目標を達成した。引き続き、研修会の開催など資格取得に向けた支援を行っていく。
指標	18	新規就業者数	人/年	66	70	94%	林業労働力確保支援センター等の関係団体と連携し、事業体の雇用環境改善に向けた支援とともに、研修会や就業体験を通じて林業の魅力発信等を行い新規就業者の確保を図っていく。また、青年林業士等と連携し、林業の技術研修などの取組みにより、新規就業者の技術向上を図っていく。
指標	19	県民の森林づくり活動等への参加人数	千人/年	106	105	101%	「みどり豊かな森林環境づくり推進事業」や「やまがたの緑の森推進事業」、森を守り育て暮らしに活かす緑の循環システムを体験する各種イベント等の参加など、森づくりの県民活動が定着しており、目標を達成した。

山形県森林審議会 委員名簿

(任期：令和2年1月1日～令和3年12月31日)

令和3年3月現在

氏名	職業・所属団体・職名等
あしたに たつや 芦谷 竜矢	山形大学農学部食料生命環境学科 教授
おおいずみ みどり 大泉 みどり	A T O M設計室 代表
くまがい ゆみこ 熊谷 由美子	有限会社熊谷伊兵治ナメコ生産所
くろだ みか 黒田 三佳	人材育成アカデミーローズレーン 代表
さとう けいいちろう 佐藤 景一郎	山形県森林組合連合会 代表理事長
さとう こうた 佐藤 孝太	西置賜ふるさと森林組合職員 青年林業士
しぶや みどり 渋谷 みどり	出羽庄内森林組合職員 森林施業プランナー
しまつ よしちか 島津 義史	学識経験者（元山形森林管理署長）
たかはし えみこ 高橋 栄美子	認定こども園さゆり幼稚園 園長
ないとう いづみ 内藤 いづみ	古澤・内藤法律事務所 主任研究員
なかの とおる 中野 亨	東北森林管理局 山形森林管理署 署長
のぎ ももこ 野木 桃子	林業女子会@山形
のぼり よしひろ 野堀 嘉裕	山形大学名誉教授
まつだ さかし 松田 賢	山形県木材産業協同組合 理事長

(五十音順)

やまがた^モリ^リ森林ノミクス加速化ビジョン

～ 第 3 次山形県森林整備長期計画～

発行 山形県 農林水産部 森林ノミクス推進課

〒990-8570 山形市松波二丁目 8-1

電話 023-630-3367 FAX 023-630-2238